

環境調査結果のお知らせ

令和7年2月25日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で2,100 cells/mL確認されました。野見・須崎湾では規制値を超える麻痺性貝毒が検出されておりますので（令和7年2月14日付け水産業振興課プレスリリース）、二枚貝類につきましては、引き続き採取及び出荷の自粛をお願いします。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ・ サンガイネア	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)			
A ガラク (12.2m) 【10:58】	0	15.6	34.7	9.3	0	30	0
	2	15.6	34.7	8.0	0	60	1
	5	15.6	34.7	8.0	0	60	0
	10	15.5	34.7	7.8	1	30	1
	底層 14	15.5	34.7	7.8	-	-	-
B 勢井 (8.1m) 【11:07】	0	15.2	34.3	8.7	0	120	11
	2	15.2	34.6	8.7	2	40	19
	5	15.2	34.6	8.7	2	40	42
	10	15.1	34.6	8.3	0	100	37
	底層 17	14.9	34.6	8.4	-	-	-
C 馬の背 (9.2m) 【11:15】	0	15.3	34.5	8.7	0	80	4
	2	15.3	34.6	8.7	0	90	26
	5	15.3	34.6	8.5	0	30	13
	10	15.2	34.7	8.1	0	40	18
	底層 23	14.8	34.6	8.4	-	-	-
D 大室戸 (11m) 【10:49】	0	15.4	34.5	8.1	0	40	5
	2	15.3	34.7	7.9	0	40	3
	5	15.3	34.7	8.0	0	60	6
	10	15.3	34.7	8.1	0	10	11
	底層 19.5	15.1	34.7	8.3	-	-	-
E 大谷漁港内 (4m) 【11:31】	0	15.0	34.6	10.3	0	-	157
	2	15.0	34.7	10.5	-	-	-
	4	14.9	34.7	10.7	0	-	1,960
	5	14.8	34.7	10.9	-	-	-
	底層 6	14.7	34.6	10.9	-	-	-
F 湾奥ブイ (6.2m) 【10:36】	0	15.2	34.6	9.1	1	40	48
	2	15.1	34.7	9.2	4	30	63
	5	15.1	34.7	9.6	1	60	2,100
	10	15.0	34.7	9.3	1	40	870
	底層 15.5	14.9	34.7	9.1	-	-	-



- A: ガラク D: 大室戸
 B: 勢井 E: 大谷漁港内
 C: 馬の背 F: 湾奥ブイ

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクテオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。